

## 児童発達支援・放課後等デイサービス事業者における自己評価結果(公表)

○この「児童発達支援・放課後等デイサービス自己評価表(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。自己評価結果について職員間で討議を行い、課題や改善すべき内容、工夫している点について下表に表記致しました。

公表: 令和6年3月31日

事業所名 こどもサポート かしのみ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員とスペースとの関係は適切であるか	○			スペースは定員に対して十分に確保している。1階2階を分けて活動している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			職員の配置数は適切である。
	3	事業所の設備は、バリアフリー化されているか			○	1階はバリアフリー化出来ているが、2階は対応できていない。
業務改善	4	PDCAサイクルが実施されているか	○			ヒヤリハット等があった場合はその都度検証している。計画、活動、振り返りを行い安全に活動できるように取り組んでいる。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			送迎時に保護者のニーズ等を聞きながら改善に向けた取り組みを行っている。かしのみ連絡ノートにてニーズの聞き取りを行っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			毎月お知らせを各家庭に配布している。ホームページも公開している。
	7	第三者評価を行い、業務改善につなげているか			○	第三者評価は行っていないが、苦情受け付けの第三者委員から助言を受けている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			阿波市手をつなぐ育成会おしゃべり相談会、阿波市吉野川市子ども部会の定期的に参加している。その他資質向上の目的で積極的に研修に参加している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、利用児童、家族のニーズを取り入れた個別支援計画が作成できているか	○			個々のニーズを聞き取り個別支援計画作成会議を開き計画を作成している。
	10	利用児童の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			行動と学習に関する基礎調査票を使用している。
	11	活動計画等を職員間で話し合っているか	○			朝礼時に活動予定を確認している。定期的に会議を行い、情報共有を図っている。
	12	活動計画がマンネリ化しないように工夫されているか	○			マンネリ化しないようにメリハリを意識して活動している。土曜日や祝日はくじ引きをして活動内容を決めている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			午前午後の活動にメリハリをつけてストレスを溜めないような活動も取り入れている。(工場見学、プール活動等)
	14	利用児童の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成しているか	○			個別課題と集団課題を計画に取り入れている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼で業務予定を確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			終礼で業務報告している。その日のヒヤリハットや良かったこと報告し合っている。

	17	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しを行っているか	○			定期的に行っている。
	18	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			日常生活訓練を中心に個別課題にも取り組んでいる。
関係機関や保護者との連携	19	相談支援事業所のサービス担当者会議に参加しているか	○			参加している。
	20	学校との情報共有、連絡調整を適切に行っているか	○			送迎時担任等から学校での様子を確認している。統一した支援が必要な場合は、担当者会を開き情報を共有している。
	21	医療的ケアが必要な利用児童を受け入れる場合は、利用児童の主治医等と連絡体制を整えているか			○	対象利用児童の利用があれば体制を検討する。
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			相談支援専門員から基本情報等を貰い共有している。
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			各事業所等から依頼があれば家族を通して情報を提供している。
	24	専門機関と連携し研修等に参加しているか	○			学校と事業所との連携推進部会に参加している。
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない児童と活動する機会があるか			○	現在行っていない。
	26	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			子ども部会に参加している。
	27	日頃から利用児童の状況を保護者と伝え合い、発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			かしのみノートや送迎時に状況を伝えている。
	28	ペアレントトレーニング等の支援を行っているか	○			相談があれば対応している。
保護者への説明責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			児童発達支援管理責任者が中心に説明している。
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談があれば協議しながら対応している。
	31	保護者同士の連携を支援しているか			○	行なっていない。

	32	苦情対応の体制を整え周知し、苦情があった場合は適切に対応しているか	○		苦情承り箱の設置や第三者評価記録を掲示している。
	33	活動内容や行事予定を利用児童、家族に対して発信しているか	○		毎月お知らせとして写真付きで活動状況を報告している。
	34	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報は鍵付きロッカーで保管している。職員には誓約書に守秘義務の署名をもらっている。
	35	利用児童や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		時間外連絡にも対応している。
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		ボランティア活動として、定期的に地域の神社の清掃活動を行っている。
非常時等の対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		職員には周知しているが、保護者に対しては不十分などところがある。
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年2回、避難、通報、消火訓練を実施している。
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止・身体拘束適正化委員会を定期的に開催している。
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、児童や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか		○	現在、対象利用児童はいない。
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	現在、対象利用児童はいない。
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットがあった場合は、敏速に協議している。